ジャズ・ベーシスト

濱瀬元彦 GO SYUKUGUCHI

[プロフィール]
「濱瀬元彦 E.L.F. Ensemble+ 菊地成孔」で音楽の新しい形を追求している。著作も多く、近著は『チャーリー・パーカーの技法 インプロヴィゼーションの構造分析』(岩波書店)。

シコ・メロ (Telebossa)、タチアナ・パーハの作品の先鋭性、芳醇性を併せ持った質の高さはとりわけ素晴らしい。ドリ・カイミ、ジョイス、エヂ・モッタ、フィロ・マシャードなどベテラン勢が凄い作品を作り、パウラ・サントーロ、アナ・パウラ・ダ・シルヴァ、レオノラ・ヴァイスマン、アミルトン・ダ・オランダらの作品のどれをとっても驚くべき質の高さでブラジル音楽の凄さが本当に際立ってきた年だったと思う。**(順不同)**

①タチアナ・パーハ、ヴァルダン・オヴセピアン／ハンド・イン・ハンド
TATIANA PARRA, VARDAN OVSEPIAN / HAND IN HAND

②テレボッサ／ガラジェン・アウロラ（写真）
TELEBOSSA / GARAGEN AURORA

③ドリ・カイミ／ヴォイス・ヂ・マーゴア
DORI CAYMMI / VOZ DE MÁGOA

④ジョイス・モレーノ／パラーヴラ・イ・ソン ~ 言葉と音 ~
JOYCE MORENO / PALAVRA E SOM

⑤アナ・パウラ・ダ・シルヴァ／ハイス・フォルチ
ANA PAULA DA SILVA / RAIZ FORTE

⑥イアン・ファキニ & パウラ・サントーロ／メタル・ナ・マデイラ
IAN FAQUINI + PAULA SANTORO / METAL NA MADEIRA

⑦エヂ・モッタ／パーペチュアル・ゲートウェイズ
ED MOTTA / PERPETUAL GATEWAYS

⑧フィロー・マシャード／クアンド・セ・ケール・アマール
FILÓ MACHADO / QUANDO SE QUER AMAR

⑨アミルトン・ヂ・オランダ／サンバ・ヂ・シコ
HAMILTON DE HOLANDA / SAMBA DE CHICO

⑩レオノラ・ヴァイスマン／アデントロ・フロレスタ・アフォーラ
LEONORA WEISSMANN / ADENTRO FLORESTA AFORA